

巻 頭 言 千葉大学大学院消化器内科学／附属病院内視鏡センター 加藤 順

1. 治療薬の使い分けの総論と各論

(1)IBD はどうモニタリングし、どのように治療を変えていくのか

千葉大学大学院消化器内科学／附属病院内視鏡センター 加藤 順

(2)治療選択における Shared Decision Making 帝京大学大学院公衆衛生学研究科 石川ひろの

(3)IBD における免疫異常と分子標的薬の使い分けの rationale

兵庫医科大学消化器内科学 高川 哲也, 新崎信一郎

(4)中等症 UC におけるバイオ製剤/JAK 阻害薬の使い分け

—抗 IL-23 抗体も含めて 名古屋大学医学部附属病院光学医療診療部 中村 正直 他

(5)Acute severe や重症の UC に対する治療戦略は変わったか？

千葉大学大学院消化器内科学 堀尾 亮輔 他

(6)抗 IL-23 抗体, JAK 阻害薬の承認で CD 治療は変わるのか？

札幌厚生病院 IBD センター 本谷 聡 他

2. 最近のトピック

(1)IBD 関連腫瘍のトピック —IBD 由来の serrated lesion について

横浜市立大学附属市民総合医療センター IBD センター 西尾 匡史 他

(2)クローン病肛門病変からの発癌とダルバドストロセルによる

クローン病肛門病変の治療 家田病院 太田章比古 他

3. これからの新しい医療に対する展望

(1)UC における抗インテグリン $\alpha v \beta 6$ 自己抗体について

京都大学大学院消化器内科学 栗田 威, 塩川 雅広 他

(2)便移植と腸内細菌療法

順天堂大学消化器内科細菌叢再生学 石川 大

(3)腸管上皮再生医療(腸管上皮オルガノイド移植)

東京医科歯科大学消化器内科 清水 寛路

(4)IBD 診療における artificial intelligence (AI) の活用

杏林大学消化器内科学 三好 潤 他

(5)IBD の遠隔医療と病診連携・病病連携のこれから

札幌医科大学消化器内科学 林 優希 他